資料４

災害対応について

１　いわて感染制御支援チーム（ICAT）とは

東日本大震災津波時において、全国初の取組として県と協力して避難所等の感染制御対策に一定の成果を上げた感染制御支援チームについて、今後の大規模災害等の健康危機管理事案発生に備え、2012（H24）年６月常設化。　⇒別紙

２　ICAT の機能

(1) 探知（センサー機能）：感染症の兆候を早期に発見
(2) 未然防止（アセスメント機能）：感染制御方針の提示、衛生教育等支援
(3) 拡大防止（スクランブル機能）：感染制御のための隔離、予防投与
(4) 情報提供（アナウンス機能）：必要な情報共有、助言

３　今年度の対応状況と成果

(1) 熊本地震

対応：日本環境感染学会からの要請を受け、先遣隊（1 班 3 名）として活動
成果：避難所の衛生管理状況を調査・報告し、その後の感染制御活動を支援した。

(2) 台風 10 号水害

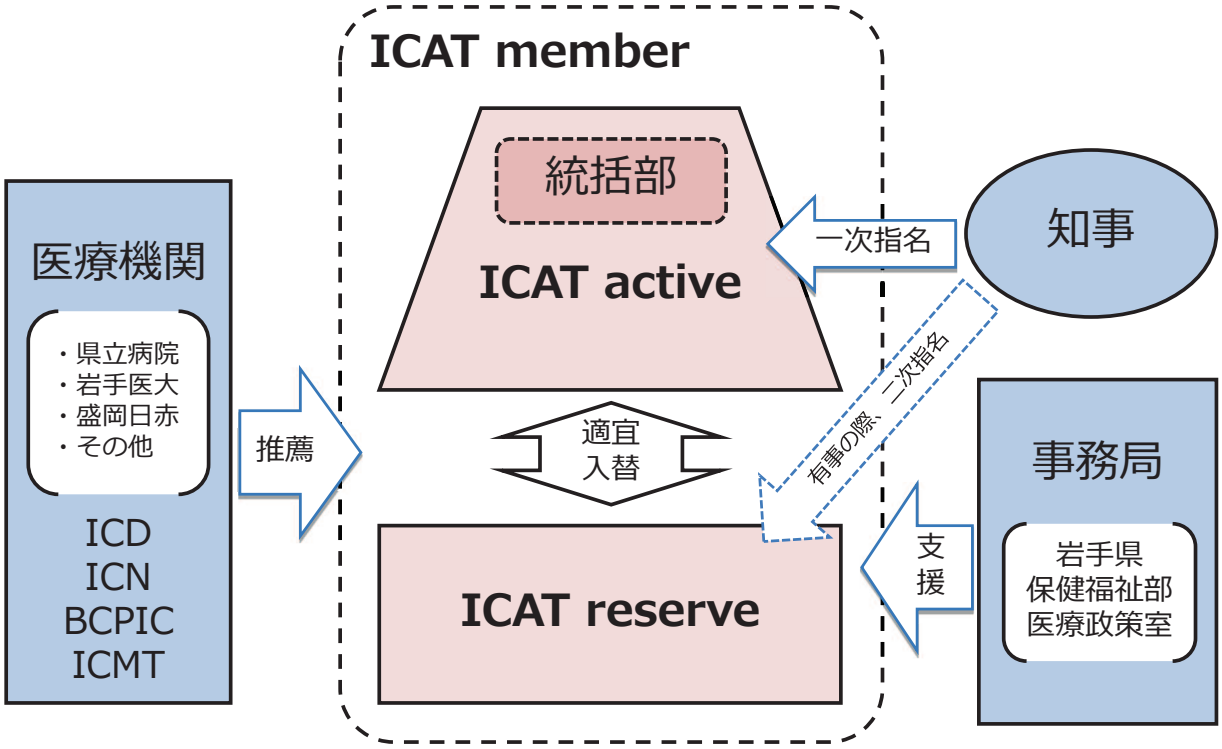
対応：平成 28 年９月２日から 11 月７日まで、延べ８班 24 名　⇒別紙
主な活動　避難所の感染症リスクアセスメント／感染対策の助言／衛生材料の供給／避難者の症候群サーベイランス
成果：感染症の集団発生　０件　⇒別紙

≪台風 10 号被害におけるその他の岩手県の対応状況≫
(1) DMAT：平成 28 年８月 31 日から９月６日まで、延べ 36 隊
(2) 医療救護班：平成 28 年９月６日から 26 日まで、延べ７班
(3) いわて災害医療支援ネットワーク会議：３回
(4) 岩泉保健・医療・福祉・介護連携会議：46 回

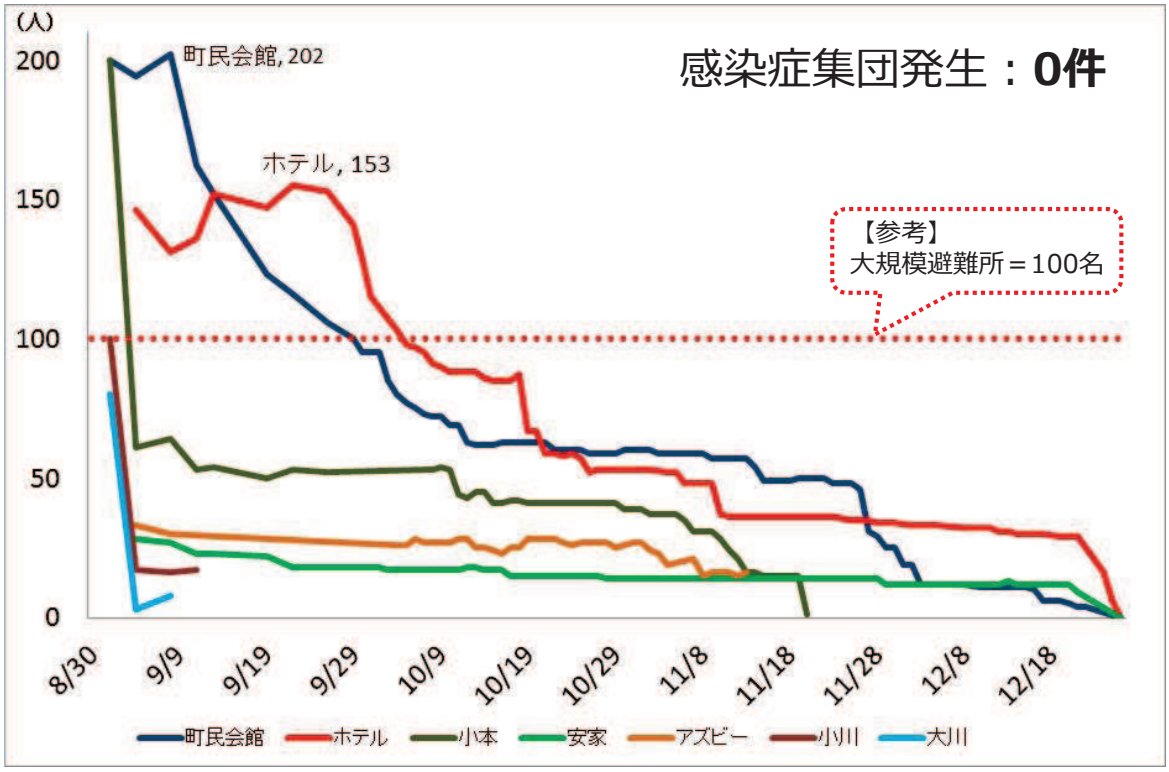
４　今後の課題と対応

(1) 医療圏域毎のチーム編成に向けた人材育成
(2) 関係機関との連携強化及び認知度向上
(3) 出動手順・連絡体制の明確化
(4) 感染対策器材の選定・備蓄・使用方法の共有
(5) 災害救助法上の感染症予防の扱い

ICATの組織体制



避難所症候群サーベイランス＿避難者数推移



台風10号災対における「いわて感染制御支援チーム（ICAT）」活動経過

月日	ICAT	県／医療政策室／保健所
8/30_火		発災 ⇒災害対策本部設置／情報収集開始
8/31_水		宮古保健所が現地確認／DMAT開始
9/1_木	【日本環境感染学会：ガイダンス発出】	宮古保健所職員派遣開始／ポスター作製
9/2_金	ICAT活動開始／第１班（櫻井副統括）	
9/3_土		衛生対策資料ホームページ掲載
9/4_日	第２班（加藤統括）	県央保健所職員派遣開始（小川地区）
9/5_月		医療支援NW会議
9/6_火		岩泉保健・医療等連携会議／DMAT終了
9/7_水	【日本環境感染学会：物資支援】	
9/8_木	統括部会議（第２回）	破傷風ポスター作成
9/9_金	第３班（小野寺副統括）	宮古保健所が全戸調査支援開始
9/10_土		
9/11_日		
9/12_月		医療支援NW会議
9/13_火		
9/14_水	第４班（福田副統括）	
9/15_木		
9/16_金		
9/17_土		
9/18_日		
9/19_月		宮古保健所が全戸調査
9/20_火		医療支援NW会議
9/21_水	第５班（高橋副統括）	
9/22_木		
9/23_金		災害復旧・復興推進本部へ移行
9/24_土		
9/25_日		
9/26_月		医療救護チーム終了
9/27_火	第６班（福田副統括）	ICAT・宮古保健所打合せ会議
9/28_水		
9/29_木	統括部会議（第３回）	症候群サーベイランス開始
9/30_金	【日本環境感染学会：物資支援終了】	
10/17_月	第7班（鴻巣ICD）	
11/4_金	第8班（高橋副統括）	
11/7_月	統括部会議（第4回）	
12/26_月		全避難所閉鎖